

## 第1四半期は業績改善したけれど…

### 大林組

ゼネコン大手の受注高がここに来て急激に落ち込んでいる。大手4社の2009年4～6月の受注高は、企業が設備投資を手控えたため、民間建築や不動産開発が振るわず、前年同期に比べ3～5割減となった。大林組は、09年第1四半期（4～6月）決算で、連結営業損益が18億7900万円の黒字。前年同期は2億7800万円の赤字だったから、大きく改善したことになる。とはいえ、09年中間期と通期の予想は従来見通しを据え置いた。連結営業利益予想は、中間期は前年同期比2・5%減、通期は前期

比6・8%減。

衆院選が民主党圧勝の予測通りとなれば、民主党政権でムダな公共工事にはマイナス要因だ。

### 企業価値検索サービス ユーレット アクセス上昇ランキング

(8月16～22日)

開発が振るわず、前年同期に比べ3～5割減となった。そんな中、大林組は、09年第1四半期（4～6月）決算で、連結営業損益が18億7900万円の黒字。前年同期は2億7800万円の赤字だったから、大きく改善したことになる。とはいえ、09年中間期と通期の予想は従来見通しを据え置いた。連結営業利益予想は、中間期は前年同期比2・5%減、通期は前期

	銘柄	取引所	株価(円)
1	大林組	東証1部	418
2	凸版印刷	東証1部	902
3	トヨタ自動車	東証1部	3980
4	コスモスイニシア	ジャスダック	43
5	鹿島建設	東証1部	267

\*21日終値。 <http://www.ullet.com/>

ユーレット 上場企業4000社の決算書を複数年にわたりデータベース化したサイト。売上高や営業CFなど、さまざまな角度から企業の経営を分析し、ワンクリックで他社と比較できる。経営方針の転換や経営リスクの高まりなど、市場が注目する銘柄のアクセスが増える傾向がある。